

アナログ電子回路

授業開始までしばらくお待ちください。

- 講義資料（スライド等）は Google drive に置く。授業前には虫喰い状態のスライドのみを提供するが、授業後に穴埋め版を uncovered フォルダに置くので復習に活用されたい。

<https://drive.google.com/drive/folders/1yzIsRZsVGFErhnfzn8Hycsn6nRPNCczn>



- 授業の録画も同じところに置く。
- ミニレポートは **Google Forms** (<https://forms.gle/MpUmErDi6qk8GSUC6>) に提出。

- 出席は UNIPA で取るが、出席そのものは評価せず。極論するとテストのみ出席で他は全欠席でも A 評価はあり得る。なお、**不正出席をした場合は 21 点の減点**とする。
- 基本的には**中間演習**と**期末試験**で評価。
- 毎回ミニレポートを課す。出す者は提出期間を厳守すること。
- 試験の不合格者は**毎回のミニレポート**と**出席**で少し救済する。
(しっかりした内容のミニレポートを概ね 9 割以上提出し、かつ UNIPA で 8 割以上遅刻せず出席していた場合最大 10 点程度の救済。提出数や出席数が少ない場合は救済幅が縮小する。いずれかが 7 割を下回ったら一切救済しない。締め切り後の提出は認めない。)
- スライド穴埋め版はその回の授業終了後に公開。
- **授業中に**スライドの誤りを見つけて指摘してくれた者には、誤り一箇所につき先着一名様限り 100 点満点 1 点相当の加点を行う。(ただしごく軽微なものなど、内容によっては加点しない場合もあり。)

2025

S 科アナログ電子回路

Analog Electronics

『〇〇接地増幅回路』

小林裕之

大阪工業大学 RD 学部システムデザイン工学科



OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

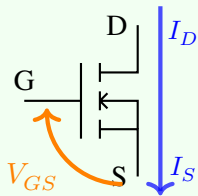
7 of 14

a L^AT_EX + Beamer slideshow

トランジスタの重要な式の復習 (MOS)

暗記する必要はないけれど考え方は理解しよう。

MOSFET の特性 (飽和領域)



$$I_D(V_{GS}) = K(V_{GS} - V_T)^2$$
$$g_m = \frac{dI_D}{dV_{GS}}$$

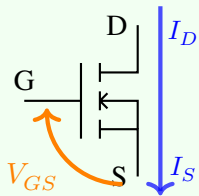
バイアスの目的・ポイント

- 飽和領域にする。
- V_{GS} を適切な大きさにする。(I_D , g_m が決まる。)

トランジスタの重要な式の復習 (MOS)

暗記する必要はないけれど考え方は理解しよう。

MOSFET の特性 (飽和領域)



$$I_D(V_{GS}) = K(V_{GS} - V_T)^2$$
$$g_m = \frac{dI_D}{dV_{GS}} = 2K(V_{GS} - V_T)$$

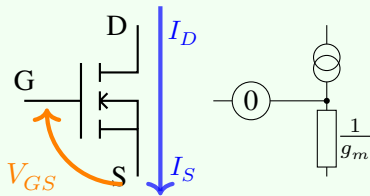
バイアスの目的・ポイント

- 飽和領域にする。
- V_{GS} を適切な大きさにする。(I_D , g_m が決まる。)

トランジスタの重要な式の復習 (MOS)

暗記する必要はないけれど考え方は理解しよう。

MOSFET の特性 (飽和領域)



$$I_D(V_{GS}) = K(V_{GS} - V_T)^2$$
$$g_m = \frac{dI_D}{dV_{GS}} = 2K(V_{GS} - V_T)$$

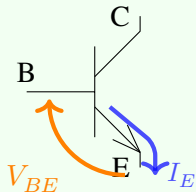
バイアスの目的・ポイント

- 飽和領域にする。
- V_{GS} を適切な大きさにする。(I_D , g_m が決まる。)

トランジスタの重要な式の復習 (バイポーラ)

暗記する必要はないけれど考え方は理解しよう。

bipolar トランジスタの特性



$$I_E = I_{ES} \left\{ \exp \left(\frac{qV_{BE}}{kT} \right) - 1 \right\}$$
$$g_m = \frac{dI_E}{dV_{BE}}$$

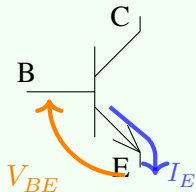
バイアスの目的・ポイント

- BE 間を順方向、BC 間を逆方向に電圧をかける。
- V_{BE} を適切な大きさにする。(I_E , g_m が決まる。)

トランジスタの重要な式の復習 (バイポーラ)

暗記する必要はないけれど考え方は理解しよう。

bipolar トランジスタの特性



$$I_E = I_{ES} \left\{ \exp \left(\frac{qV_{BE}}{kT} \right) - 1 \right\}$$
$$g_m = \frac{dI_E}{dV_{BE}} = I_{ES} \frac{q}{kT} e^{\frac{qV_{BE}}{kT}} \left(\simeq \frac{qI_E}{kT} \right)$$

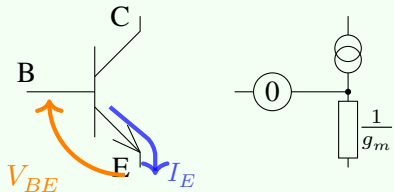
バイアスの目的・ポイント

- BE 間を順方向、BC 間を逆方向に電圧をかける。
- V_{BE} を適切な大きさにする。(I_E , g_m が決まる。)

トランジスタの重要な式の復習 (バイポーラ)

暗記する必要はないけれど考え方は理解しよう。

bipolar トランジスタの特性



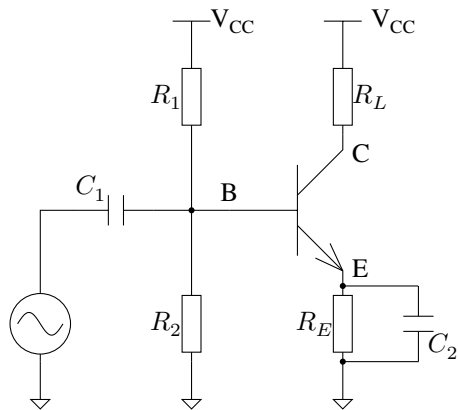
$$I_E = I_{ES} \left\{ \exp \left(\frac{qV_{BE}}{kT} \right) - 1 \right\}$$
$$g_m = \frac{dI_E}{dV_{BE}} = I_{ES} \frac{q}{kT} e^{\frac{qV_{BE}}{kT}} \left(\simeq \frac{qI_E}{kT} \right)$$

バイアスの目的・ポイント

- BE 間を順方向、BC 間を逆方向に電圧をかける。
- V_{BE} を適切な大きさにする。(I_E , g_m が決まる。)

バイポーラトランジスタの基本増幅回路

エミッタ接地回路の設計



設計手順の例 (絶対こうしろという意味ではないです。)

① AC 設計

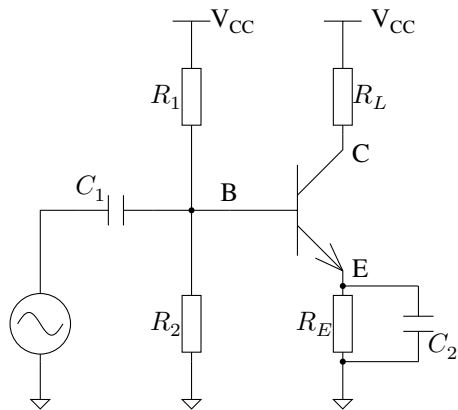
小信号部分をナレータ・ノレータモデル (等) で解析し、 β を決める。

② DC 設計

適切な V_{CE} が流れるようにバイアス抵抗 R_1, R_2 を設定する。(ナレータ・ノレータモデルを使ってもいい。)

バイポーラトランジスタの基本増幅回路

エミッタ接地回路の設計



設計手順の例 (絶対こうしろという意味ではないです。)

① AC 設計

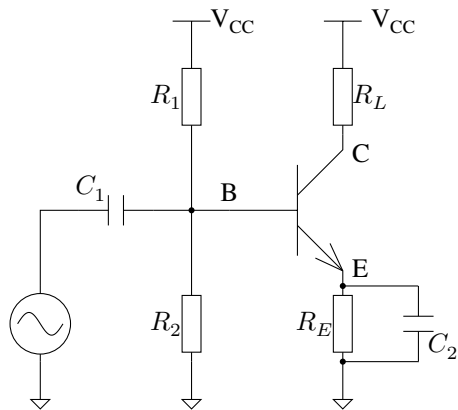
小信号部分をナレータ・ノレータモデル (等) で解析し、 R_L を決める。

② DC 設計

適切な V_{CE} が流れるようにバイアス抵抗 R_1, R_2, R_E を設定する。(ナレータ・ノレータモデルを使ってもいい。)

バイポーラトランジスタの基本増幅回路

エミッタ接地回路の設計



設計手順の例 (絶対こうしろという意味ではないです。)

① AC 設計

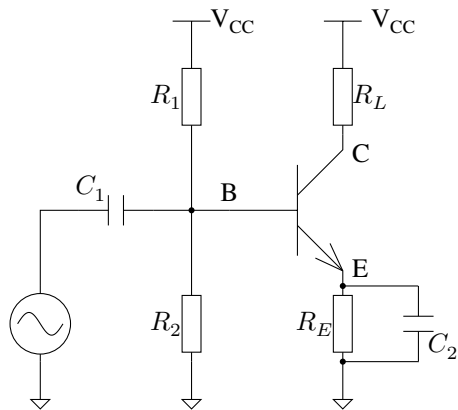
小信号部分をナレータ・ノレータモデル (等) で解析し、 R_L を決める。

② DC 設計

適切な**エミッタ電流**が流れるようにバイアス抵抗を設定する。(ナレータ・ノレータモデルを使ってもいい。)

バイポーラトランジスタの基本増幅回路

エミッタ接地回路の設計



設計手順の例 (絶対こうしろという意味ではないです。)

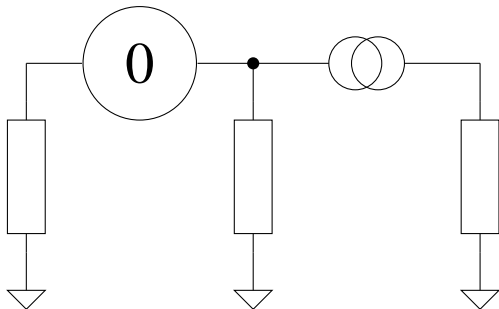
① AC 設計

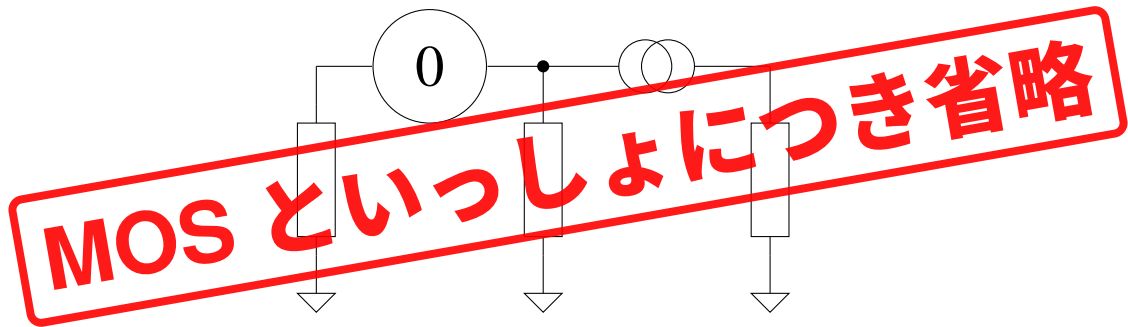
小信号部分をナレータ・ノレータモデル (等) で解析し、 R_L を決める。

② DC 設計

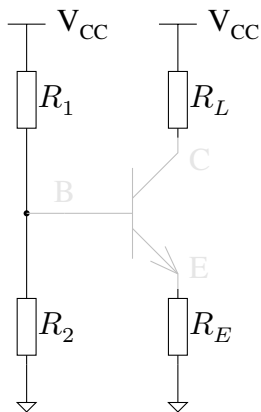
適切な**エミッタ電流**が流れるようにバイアス抵抗 R_1 , R_2 , R_E を設定する。(ナレータ・ノレータモデルを使ってもいい。)

エミッタ接地回路の AC 解析の考え方





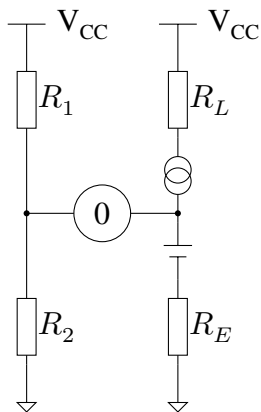
エミッタ接地回路の DC 解析の考え方兼練習問題



問: $R_1 = 12 \text{ k}\Omega$, $R_2 = 18 \text{ k}\Omega$, $R_L = 33 \text{ k}\Omega$, $V_{CC} = 3.0 \text{ V}$ であり、大信号モデルにおいて $V_{BE} = 0.7 \text{ V}$ とする。

- ① DC 解析より V_E を求めよ。また、コレクタ電位を 2.25 V にするための R_E を求めよ。
- ② 伝達コンダクタンスがエミッタ電流 I_E を使って $g_m \simeq \frac{qI_E}{kT} \simeq 44I_E$ であるとして g_m を求めよ。

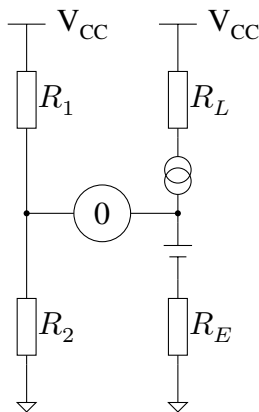
エミッタ接地回路の DC 解析の考え方兼練習問題



問: $R_1 = 12 \text{ k}\Omega$, $R_2 = 18 \text{ k}\Omega$, $R_L = 33 \text{ k}\Omega$, $V_{CC} = 3.0 \text{ V}$ であり、大信号モデルにおいて $V_{BE} = 0.7 \text{ V}$ とする。

- ① DC 解析より V_E を求めよ。また、コレクタ電位を 2.25 V にするための R_E を求めよ。
- ② 伝達コンダクタンスがエミッタ電流 I_E を使って $g_m \simeq \frac{qI_E}{kT} \simeq 44I_E$ であるとして g_m を求めよ。

エミッタ接地回路の DC 解析の考え方兼練習問題

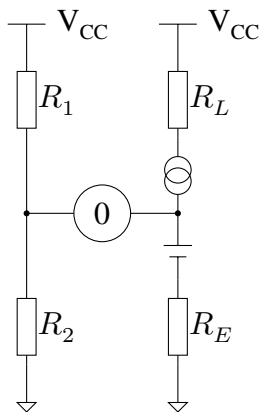


問: $R_1 = 12 \text{ k}\Omega$, $R_2 = 18 \text{ k}\Omega$, $R_L = 33 \text{ k}\Omega$, $V_{CC} = 3.0 \text{ V}$ であり、大信号モデルにおいて $V_{BE} = 0.7 \text{ V}$ とする。

- ① DC 解析より V_E を求めよ。また、コレクタ電位を 2.25 V にするための R_E を求めよ。
- ② 伝達コンダクタンスがエミッタ電流 I_E を使って $g_m \simeq \frac{qI_E}{kT} \simeq 44I_E$ であるとして g_m を求めよ。

$$V_E = 1.1, R_E = 48.4 \times 10^3,$$

エミッタ接地回路の DC 解析の考え方兼練習問題



問: $R_1 = 12 \text{ k}\Omega$, $R_2 = 18 \text{ k}\Omega$, $R_L = 33 \text{ k}\Omega$, $V_{CC} = 3.0 \text{ V}$ であり、大信号モデルにおいて $V_{BE} = 0.7 \text{ V}$ とする。

- ① DC 解析より V_E を求めよ。また、コレクタ電位を 2.25 V にするための R_E を求めよ。
- ② 伝達コンダクタンスがエミッタ電流 I_E を使って $g_m \simeq \frac{qI_E}{kT} \simeq 44I_E$ であるとして g_m を求めよ。

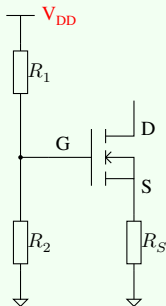
$$V_E = 1.1, R_E = 48.4 \times 10^3, g_m = 0.001$$

基本増幅回路の考え方 (?)

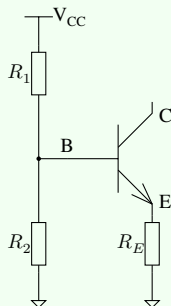
覚えるのは大変。だけどころすれば自然とわかる!?

必要最小限のバイアスをかける回路がある。譲れない部分なので**こ**
こだけは共通としよう。(R_S, R_E はなくてもいいと言えはいいのですが、入れておくところとちょっとしたご利益があるので入れておきます。詳細はこの授業の最後の方で……。)

MOSFET 基本増幅回路のコア



bipolar 基本増幅回路のコア



おことわり

ここから話は小信号設計に入りますが、小信号モデルは MOS もバイポーラも一緒なので記号は MOS で行きます。

【〇〇接地】とは。

あくまでも小信号視点の呼び方。

ことで作る回路の設計パターン。

【〇〇接地】とは。

あくまでも小信号視点の呼び方。

- 小信号の基準点（グラウンド、つまり**接地点**）を

ことで作る回路の設計パターン。

【〇〇接地】とは。

あくまでも小信号視点の呼び方。

- 小信号の基準点（グラウンド、つまり**接地点**）を
- トランジスタの**どこかの端子**、つまり…

ことで作る回路の設計パターン。

【〇〇接地】とは。

あくまでも小信号視点の呼び方。

- 小信号の基準点（グラウンド、つまり**接地点**）を
- トランジスタの**どこかの端子**、つまり…
- **ソース・ゲート・ドレインのいずれか**にする

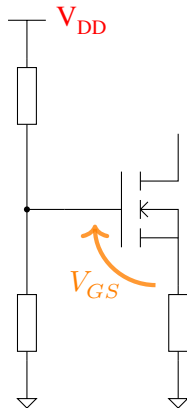
ことで作る回路の設計パターン。

【〇〇接地】 其之壹: ソース/エミッタ接地

- ① ソース/エミッタを AC 的に接地する。

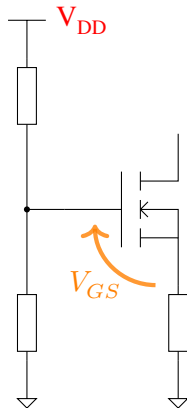
や を変化させる必要がある
ので に v_i を
入れる以外選択肢がない。

- ③ すると残った
が出力になる。出力電圧を
出すために負荷抵抗 R_L を入れ
てできあがり。



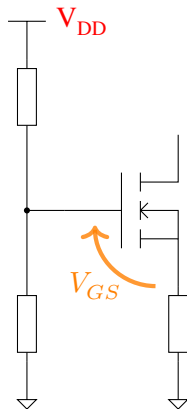
【〇〇接地】 其之壹: ソース/エミッタ接地

- ① ソース/エミッタを AC 的に接地する。
- ② V_{GS} や V_{DS} を変化させる必要があるのに v_i を入れる以外選択肢がない。
- ③ すると残った v_o が出力になる。出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を入れてできあがり。



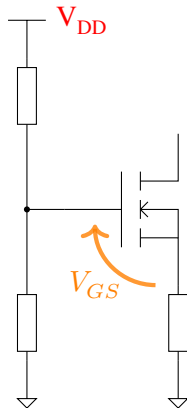
【〇〇接地】 其之壹: ソース/エミッタ接地

- ① ソース/エミッタを AC 的に接地する。
- ② V_{GS} や V_{BE} を変化させる必要があるので v_i を入れる以外選択肢がない。
- ③ すると残った
が出力になる。出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を入れてできあがり。



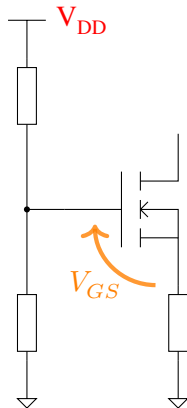
【〇〇接地】 其之壹: ソース/エミッタ接地

- ① ソース/エミッタを AC 的に接地する。
- ② V_{GS} や V_{BE} を変化させる必要があるので ゲート/ベースに v_i を入れる以外選択肢がない。
- ③ すると残った
が出力になる。出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を入れてできあがり。



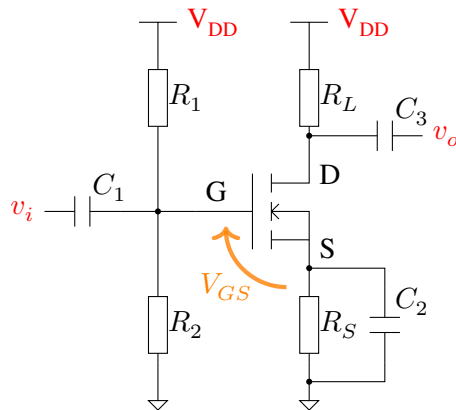
【〇〇接地】 其之壹: ソース/エミッタ接地

- ① ソース/エミッタを AC 的に接地する。
- ② V_{GS} や V_{BE} を変化させる必要があるので ゲート/ベースに v_i を入れる以外選択肢がない。
- ③ すると残ったドレイン/コレクタが出力になる。出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を入れてできあがり。



【〇〇接地】 其之壹: ソース/エミッタ接地

- ① ソース/エミッタを AC 的に接地する。
- ② V_{GS} や V_{BE} を変化させる必要があるので ゲート/ベースに v_i を入れる以外選択肢がない。
- ③ すると残ったドレイン/コレクタが出力になる。出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を入れてできあがり。

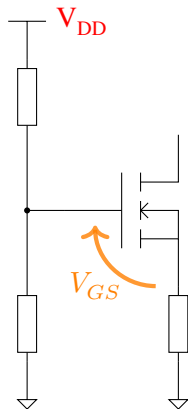


【〇〇接地】 其之貳: ゲート/ベース接地

- ① ゲート/ベースを AC 的に接地する。

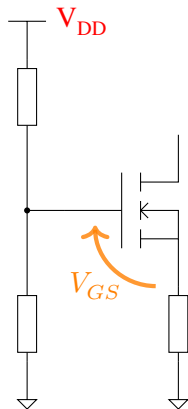
や を変化させる必要があるのに v_i を入れる以外選択肢がない。

- ③ すると残った
が出力になる。出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を入れてできあがり。



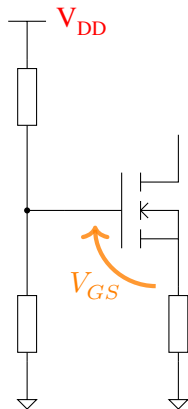
【〇〇接地】 其之貳: ゲート/ベース接地

- ① ゲート/ベースを AC 的に接地する。
- ② V_{GS} や v_i を変化させる必要があるのに v_i を入れる以外選択肢がない。
- ③ すると残った
が出力になる。出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を入れてできあがり。



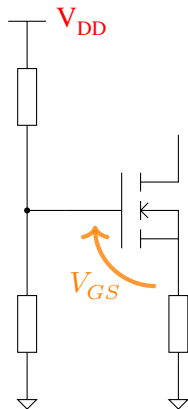
【〇〇接地】 其之貳: ゲート/ベース接地

- ① ゲート/ベースを AC 的に接地する。
- ② V_{GS} や V_{BE} を変化させる必要があるのに v_i を入れる以外選択肢がない。
- ③ すると残った
が出力になる。出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を入れてできあがり。



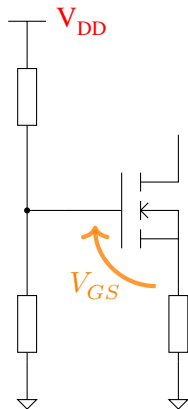
【〇〇接地】 其之貳: ゲート/ベース接地

- ① ゲート/ベースを AC 的に接地する。
- ② V_{GS} や V_{BE} を変化させる必要があるなので ソース/エミッタに v_i を入れる以外選択肢がない。
- ③ すると残った
が出力になる。出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を入れてできあがり。



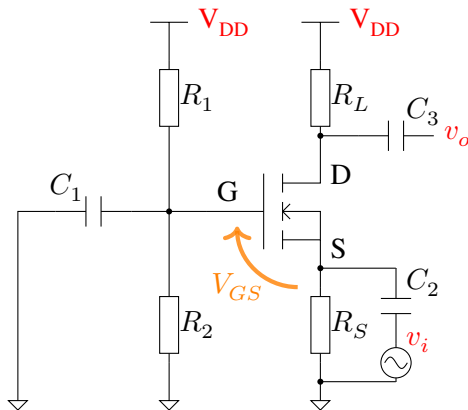
【〇〇接地】 其之貳: ゲート/ベース接地

- ① ゲート/ベースを AC 的に接地する。
- ② V_{GS} や V_{BE} を変化させる必要があるなのでソース/エミッタに v_i を入れる以外選択肢がない。
- ③ すると残ったドレイン/コレクタが出力になる。出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を入れてできあがり。



【〇〇接地】 其之貳: ゲート/ベース接地

- ① ゲート/ベースを AC 的に接地する。
- ② V_{GS} や V_{BE} を変化させる必要があるなのでソース/エミッタに v_i を入れる以外選択肢がない。
- ③ すると残ったドレイン/コレクタが出力になる。出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を入れてできあがり。



前ページのゲート接地増幅回路の小信号における

- ① 電圧利得 A_v を求めよ。
- ② 入力インピーダンス Z_i を求めよ。
- ③ 出力インピーダンス Z_o を求めよ。

ただしトランジスタの伝達コンダクタンスを g_m とする。

ヒント: まずは回路の小信号モデルを書くことから…。

前ページのゲート接地増幅回路の小信号における

- ① 電圧利得 A_v を求めよ。
- ② 入力インピーダンス Z_i を求めよ。
- ③ 出力インピーダンス Z_o を求めよ。

ただしトランジスタの伝達コンダクタンスを g_m とする。

ヒント: まずは回路の小信号モデルを書くことから…。

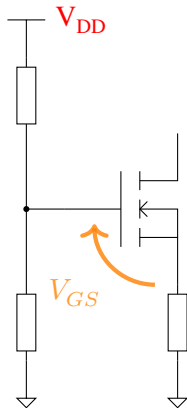
$$\text{答: } A_v = g_m R_L, Z_i = \frac{R_S}{1 + g_m R_S}, Z_o = R_L$$

【〇〇接地】 其之参: ドレイン/コレクタ接地

- ① **ドレイン/コレクタを AC 的に接地**…しようとしたが、邪魔な抵抗器もないのでそのまま **に直結**。(GND じゃダメなのわかる?)

や を変化させる必要がある…ということ
ことは、入力に残った 2 端子ならどっちでも
良さそうなものだが、ゲートやベースを出力にするのはいかにも無理な感じがするので
に v_i を入れる ことにする。

- ③ すると残った **が出力** になる。
出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を…入れようと思ったが既にあるのでこれが R_L だったことにしてできあがり。

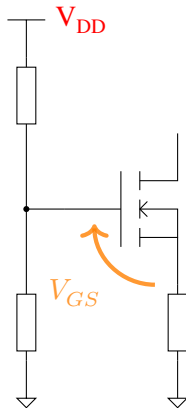


【〇〇接地】 其之参: ドレイン/コレクタ接地

- ① **ドレイン/コレクタを AC 的に接地**…しようとしたが、邪魔な抵抗器もないのでそのまま V_{DD} や V_{CC} に直結。(GND じゃダメなのわかる?)

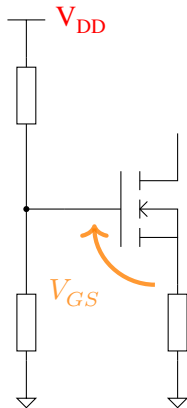
や を変化させる必要がある…ということ
ことは、入力に残った 2 端子ならどっちでも
良さそうなものだが、ゲートやベースを出力にするのはいかにも無理な感じがするので
に v_i を入れる ことにする。

- ③ すると残った **が出力** になる。
出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を…入れようと思ったが既にあるのでこれが R_L だったことにしてできあがり。



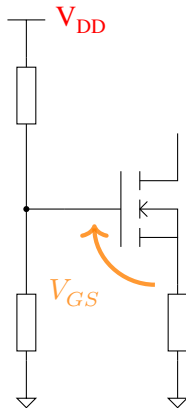
【〇〇接地】 其之参: ドレイン/コレクタ接地

- ① **ドレイン/コレクタを AC 的に接地**…しようとしたが、邪魔な抵抗器もないのでそのまま V_{DD} や V_{CC} に直結。(GND じゃダメなのわかる?)
- ② V_{GS} や を変化させる必要がある…ということは、入力に残った 2 端子ならどっちでも良さそうなものだが、ゲートやベースを出力にするのはいかにも無理な感じがするので **に v_i を入れる** ことにする。
- ③ すると残った **が出力** になる。出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を…入れようと思ったが既にあるのでこれが R_L だったことにしてできあがり。



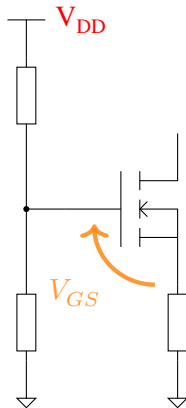
【〇〇接地】 其之参: ドレイン/コレクタ接地

- ① **ドレイン/コレクタを AC 的に接地**…しようとしたが、邪魔な抵抗器もないのでそのまま V_{DD} や V_{CC} に直結。(GND じゃダメなのわかる?)
- ② V_{GS} や V_{BE} を変化させる必要がある…ということは、入力に残った 2 端子ならどっちでも良さそうなものだが、ゲートやベースを出力にするのはいかにも無理な感じがするので **に v_i を入れる** ことにする。
- ③ すると残った **が出力** になる。出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を…入れようと思ったが既にあるのでこれが R_L だったことにしてできあがり。



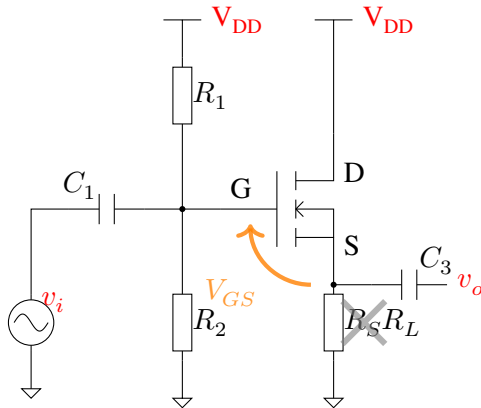
【〇〇接地】 其之参: ドレイン/コレクタ接地

- ① **ドレイン/コレクタを AC 的に接地**…しようとしたが、邪魔な抵抗器もないのでそのまま V_{DD} や V_{CC} に直結。(GND じゃダメなのわかる?)
- ② V_{GS} や V_{BE} を変化させる必要がある…ということは、入力に残った 2 端子ならどっちでも良さそうなものだが、ゲートやベースを出力にするのはいかにも無理な感じがするので **ゲート/ベースに v_i を入れる** ことにする。
- ③ すると残った **が出力** になる。出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を…入れようと思ったが既にあるのでこれが R_L だったことにしてできあがり。



【〇〇接地】 其之参: ドレイン/コレクタ接地

- ① **ドレイン/コレクタを AC 的に接地**…しようとしたが、邪魔な抵抗器もないのでそのまま V_{DD} や V_{CC} に直結。(GND じゃダメなのわかる?)
- ② V_{GS} や V_{BE} を変化させる必要がある…ということは、入力に残った 2 端子ならどっちでも良さそうなものだが、ゲートやベースを出力にするのはいかにも無理な感じがするので **ゲート/ベースに v_i を入れる** ことにする。
- ③ すると残った**ソース/エミッタが出力**になる。出力電圧を出すために負荷抵抗 R_L を…入れようと思ったが既にあるのでこれが R_L だったことにしてできあがり。



前ページのドレイン接地増幅回路の小信号における

- ① 電圧利得 A_v を求めよ。
- ② 入力インピーダンス Z_i を求めよ。
- ③ 出力インピーダンス Z_o を求めよ。

ただしトランジスタの伝達コンダクタンスを g_m とする。

ヒント: まずは回路の小信号モデルを書くことから…。

前ページのドレイン接地増幅回路の小信号における

- ① 電圧利得 A_v を求めよ。
- ② 入力インピーダンス Z_i を求めよ。
- ③ 出力インピーダンス Z_o を求めよ。

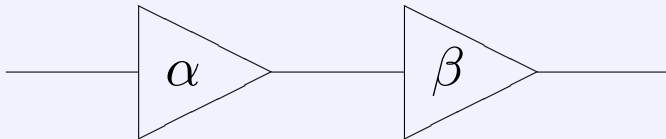
ただしトランジスタの伝達コンダクタンスを g_m とする。

ヒント: まずは回路の小信号モデルを書くことから…。

$$\text{答: } A_v = \frac{g_m R_L}{1 + g_m R_L}, Z_i = R_1 // R_2, Z_o = \frac{R_L}{1 + g_m R_L}$$

もんだい

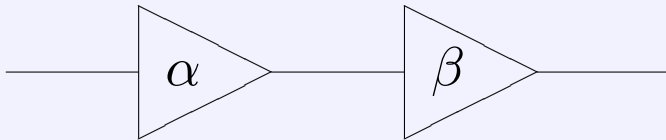
電圧利得が α の増幅器と β の増幅器があります。縦続接続したら全体の利得はいくつでしょう？



こたえ:

もんだい

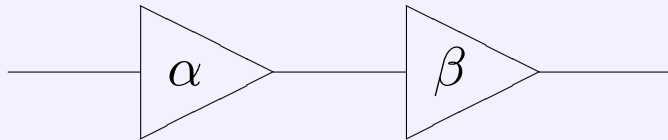
電圧利得が α の増幅器と β の増幅器があります。縦続接続したら全体の利得はいくつでしょう？



こたえ: $\alpha\beta$

もんだい

電圧利得が α の増幅器と β の増幅器があります。縦続接続したら全体の利得はいくつでしょう？

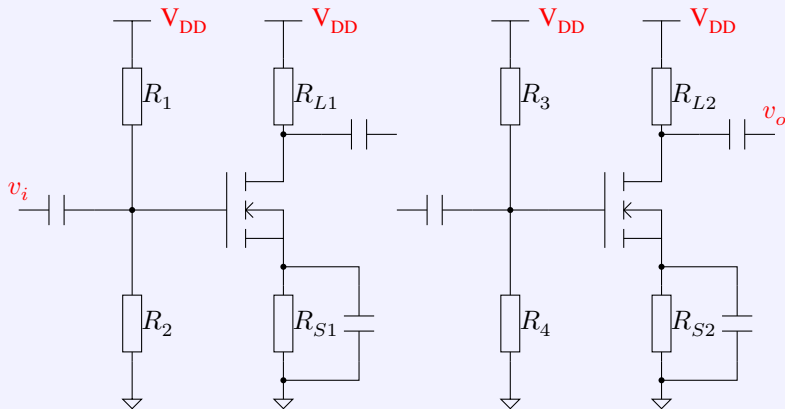


こたえ: $\alpha\beta$

で済むならこんなありがたい話はない。

縦続接続してみよう

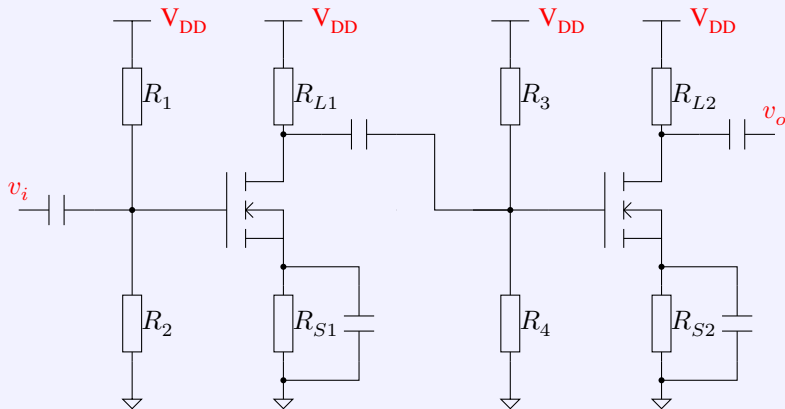
基本のソース接地（エミッタ接地）の二段縦続接続



この回路（ごく普通のソース設置増幅回路を縦続接続しただけ）の **小信号モデル** を求めよ。

縦続接続してみよう

基本のソース接地（エミッタ接地）の二段縦続接続



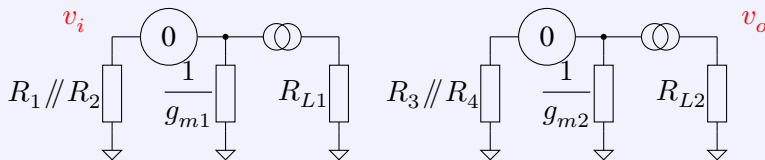
この回路（ごく普通のソース設置増幅回路を縦続接続しただけ）の **小信号モデル** を求めよ。

v_i

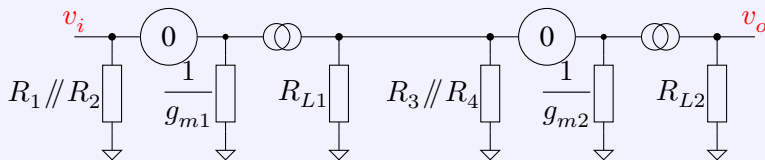
v_o

モデルが立ったら電圧利得を求めてみよう。

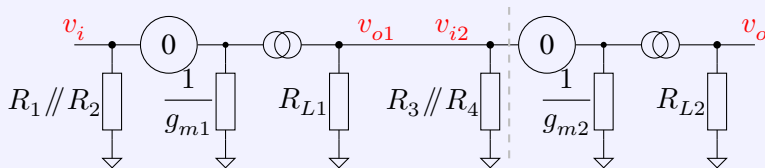
縦続接続の小信号モデル



モデルが立ったら電圧利得を求めてみよう。



モデルが立ったら電圧利得を求めてみよう。



モデルが立ったら電圧利得を求めてみよう。

$$v_{o1} =$$

$$v_o =$$

$$A_v = \frac{v_o}{v_i} =$$

$$\begin{aligned}v_{o1} &= -g_{m1}(R_{L1} \parallel R_3 \parallel R_4)v_i = \\v_o &= \end{aligned}$$

$$A_v = \frac{v_o}{v_i} =$$

$$\begin{aligned}v_{o1} &= -g_{m1}(R_{L1} \parallel R_3 \parallel R_4)v_i = v_{i2} \\ v_o &= \end{aligned}$$

$$A_v = \frac{v_o}{v_i} =$$

$$\begin{aligned}v_{o1} &= -g_{m1}(R_{L1} \parallel R_3 \parallel R_4)v_i = v_{i2} \\v_o &= -g_{m2} R_{L2} v_{i2}\end{aligned}$$

$$A_v = \frac{v_o}{v_i} =$$

$$v_{o1} = -g_{m1}(R_{L1} // R_3 // R_4)v_i = v_{i2}$$

$$v_o = -g_{m2} R_{L2} v_{i2}$$

$$= g_{m1} g_{m2} R_{L2} (R_{L1} // R_3 // R_4) v_i$$

$$A_v = \frac{v_o}{v_i} =$$

$$v_{o1} = -g_{m1}(R_{L1} // R_3 // R_4)v_i = v_{i2}$$

$$v_o = -g_{m2} R_{L2} v_{i2}$$

$$= g_{m1} g_{m2} R_{L2} (R_{L1} // R_3 // R_4) v_i$$

$$A_v = \frac{v_o}{v_i} = g_{m1} g_{m2} R_{L2} (R_{L1} // R_3 // R_4)$$

$$A_v = \frac{v_o}{v_i} = g_{m1} g_{m2} R_{L2} (R_{L1} // R_3 // R_4)$$

- 単純な積だったら のはず。これよりもゲインは になっている。
- もし が大きければゲインの低下は小さくて済む。そんなわけで は大きいほうが良い、とされる (ことが多い)。
- うまくバイアスを設定してやって $R_3, R_4 = \infty$ にするのも良い。

$$A_v = \frac{v_o}{v_i} = g_{m1} g_{m2} R_{L2} (R_{L1} // R_3 // R_4)$$

- 単純な積だったら $g_{m1} g_{m2} R_{L2} R_{L1}$ のはず。これよりもゲインは になっている。
- もし が大きければゲインの低下は小さくて済む。そんな わけで は大きいほうが良い、とされる (こ とが多い)。
- うまくバイアスを設定してやって $R_3, R_4 = \infty$ にするのも良い。

$$A_v = \frac{v_o}{v_i} = g_{m1} g_{m2} R_{L2} (R_{L1} // R_3 // R_4)$$

- 単純な積だったら $g_{m1} g_{m2} R_{L2} R_{L1}$ のはず。これよりもゲインは小さくなっている。
- もし R_{L1} が大きければゲインの低下は小さくて済む。そんなわけで R_{L1} は大きいほうが良い、とされる (ことが多い)。
- うまくバイアスを設定してやって $R_3, R_4 = \infty$ にするのも良い。

$$A_v = \frac{v_o}{v_i} = g_{m1} g_{m2} R_{L2} (R_{L1} // R_3 // R_4)$$

- 単純な積だったら $g_{m1} g_{m2} R_{L2} R_{L1}$ のはず。これよりもゲインは小さくなっている。
- もし $R_3 // R_4$ が大きければゲインの低下は小さくて済む。そんなわけで
は大きいほうが良い、とされる (ことが多い)。
- うまくバイアスを設定してやって $R_3, R_4 = \infty$ にするのも良い。

$$A_v = \frac{v_o}{v_i} = g_{m1} g_{m2} R_{L2} (R_{L1} // R_3 // R_4)$$

- 単純な積だったら $g_{m1} g_{m2} R_{L2} R_{L1}$ のはず。これよりもゲインは小さくなっている。
- もし $R_3 // R_4$ が大きければゲインの低下は小さくて済む。そんなわけで **入力インピーダンス** は大きいほうが良い、とされる (ことが多い)。
- うまくバイアスを設定してやって $R_3, R_4 = \infty$ にするのも良い。

ミニレポート課題 (受付期間: 授業当日～次回授業の前日)

受付期間外には提出しないこと。(自動処理しています。)

『ゲート接地増幅回路の練習』を解け。答えのみではなく、**きちんとした説明をつけること**。以下の語をそれぞれ一度以上使うこと。

ゲート, ソース, ドレイン, 接地, キャパシタ, 負荷

提出は下記 URL の Google Forms。歪んでいない、開いた時に横倒しになっていない、コントラストが読むに耐えうる **PDF で提出** すること。**手書きを写真撮影する場合はスキャナもしくはスキャナアプリの使用を必須とする**。

<https://forms.gle/MpUmErDi6qk8GSUC6>

